



図書館だより11月号



日高高校・附属中学校図書館

校内読書週間 REPORT

11月1日から14日まで校内読書週間を開催しました。11月8日の放課後に行った「偏愛の世界 百人一首沼」では、百人一首の成り立った経緯や歌の作者の意外なつながり、カルタを使った遊びなどの話をいただきました。

「図書館 DE 謎解き」は今年もひねりをきかせた問題が提供され、挑戦した生徒たちは頭を働かせてうんうん唸っていました。読書週間ポスターは1号館2階の階段付近と2号館1階のトイレ付近に掲示しましたが、見ていただけましたか？今年は1年2組の飛び入り参加もあり、クラブだけではないバリエーションに富んだポスターになりました。



1年生の現代の国語の授業で行った課題を南側の窓に掲示中です！「読書とは〇〇だ」の〇〇を自分にとってのものに当てはめています。あ～そうよな～と納得の言葉から、思いもよらないものまで、個性豊かな言葉の数々を見に来てください！



ビブリオバトル御坊大会



11月3日、御坊市立図書館でビブリオバトル御坊大会が開かれ、日高高校から1名、日高附属中学校から2名がバトラーとして参加しました。中学生の部では坂元裕二脚本、佐野晶著『怪物』が、高校生の部では知念実希人著『神のダイスを見上げて』がそれぞれチャンプ本になり、12月に行われる県大会に進出しました。

生徒図書充実委員会 に行ってきました

10月21日に箕島高校で、海草地方から日高地方までの高校の図書委員が集まる、第3ブロック生徒図書充実委員会があり、本校生徒4名が参加しました。予定の時間より早く着いたので、有田市の健康スポーツ公園 BIG SMILE PARK も見学しました。箕島高校では語り手の森の方によるおはなし会を聞き、参加した各校の学校図書館活動報告を聞いたり、ハロウィンのポップアップカードを作ったりして交流を深めました。他校の学校図書館に入って日高高校図書館との違いを感じたりして、有意義な研修会になりました。



高さ 13.3 メートル！



作成したカードと共に

日高高校の図書委員会活動を報告



2024年10月14日になかがわりえさんが、10月23日にせなけいこさんがお亡くなりになりました。お二人とも素晴らしい絵本作家で、すべての人が知っていると言っても大げさでなくらい、皆が読んだことのある絵本をたくさん描かれました。本校図書館にも『ねないこだれだ』と『ぐりとぐら』シリーズがあります。小さかったときのことを思い出してページをめくってみてはいかがでしょうか？

司書の編集後記

先日と歌山県立博物館で、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」登録20周年記念特別展「聖地巡礼—熊野と高野—」を見してきました。Ⅰ期Ⅱ期も面白そうだったので、今回は道成寺関連の展示もあるということで、特別に興味を持って行きました。そこでとても興味深いものが展示されていたので紹介します。

それは御坊の小松原という地域からの訴状で、そこにはこう書かれていました。

熊野詣での道中に、道成寺の門前に宿ができたことで小松原の宿を参詣客が利用しなくなったため、売り上げが激減した。その後お役所が間に入って道成寺門前で客を泊めてはいけぬ、という取り決めをしたはずなのに、また道成寺では客を泊めている。そのわけは、この旅人は足を痛めてしまっているから、特別に泊めてやった、と言っている。でも泊めないと決めたんだから泊めるな、とお役所から道成寺に言ってくれ。

これに対して役所は道成寺に宿泊客を取ってはいけぬと通知文を出しています。

昔から人の営みは変わらないなあ、地域のいざこざも何でも残しておいたら資料として価値が出て興味を持って読み解く人が出てくるんやな、と日高高校の書庫にある、かつての生徒たちが残していった物々に思いを馳せたのでした。日高高校関連のもの、大切に置いていますので見たい方はぜひ。

箕島高校図書館の
キャラクター
みのたん

